

資料 1

諮問事項 1

苫小牧港港湾計画の一部変更（案）

東港区弁天地区において、コンテナヤードの逼迫に対応するため、埠頭用地を拡張する。

説明資料

1 変更箇所及び変更理由、変更概要

(1) 変更箇所

変更箇所は苫小牧港東港区弁天地区中央ふ頭である。なお、図 1にその位置を示す。



図 1 位置図

(2) 変更理由及び変更概要

- ①外貿コンテナ取扱機能は、平成 20 年 8 月に西港区本港地区入船ふ頭から東港区弁天地区中央ふ頭に移転し、平成 22 年 4 月には、水深 12m 岸壁の一部供用による 2 隻同時荷役が可能となっている。平成 22 年の外貿コンテナ取扱個数は 20 万 TEU を超え、過去最高を記録している。
- ②コンテナの蔵置日数は既定計画上の日数を大きく上回っており、現在供用中のコンテナヤードの蔵置スペースが逼迫していることに加え、平成 24 年度には、内航フィーダーコンテナ貨物が西港区からの移転も予定されており、更なる混雑が見込まれる。

これらのことから、コンテナの効率的な輸送・配置を考慮し、埠頭用地の拡張を計画する。また、これに伴い、臨港道路中央ふ頭幹線の計画法線も合わせて変更する。

なお、既定計画及び今回計画における公共埠頭配置計画を図 2 に、公共埠頭の埠頭用地面積については、表 1 に示す。

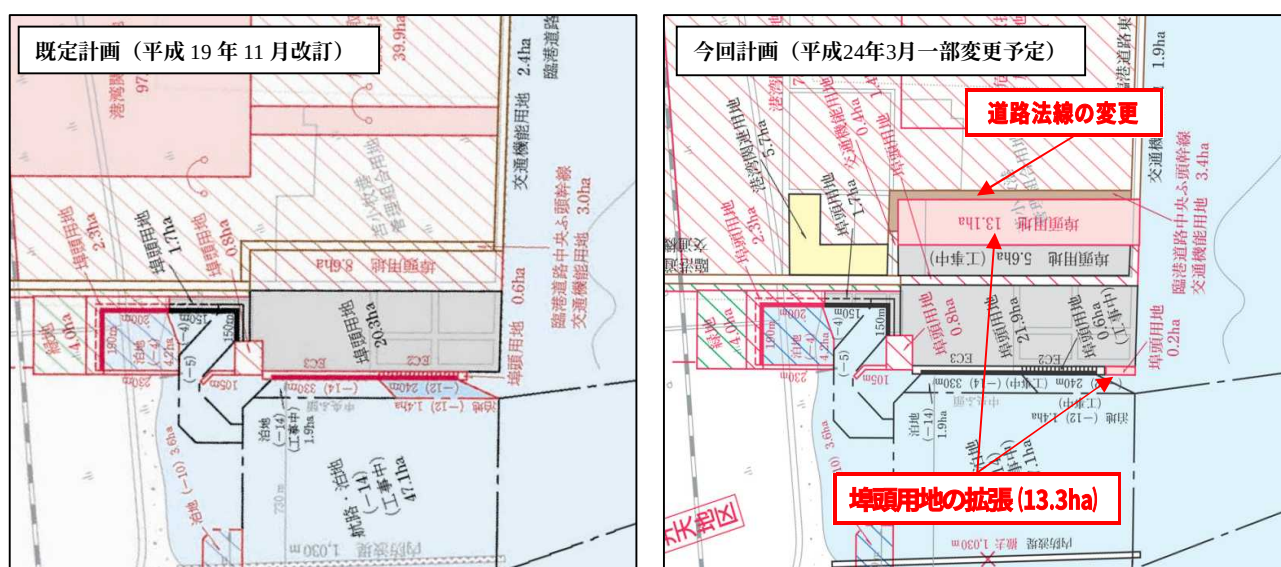


図 2 既定計画及び今回計画の公共埠頭の配置計画

表 1 公共埠頭の埠頭用地面積

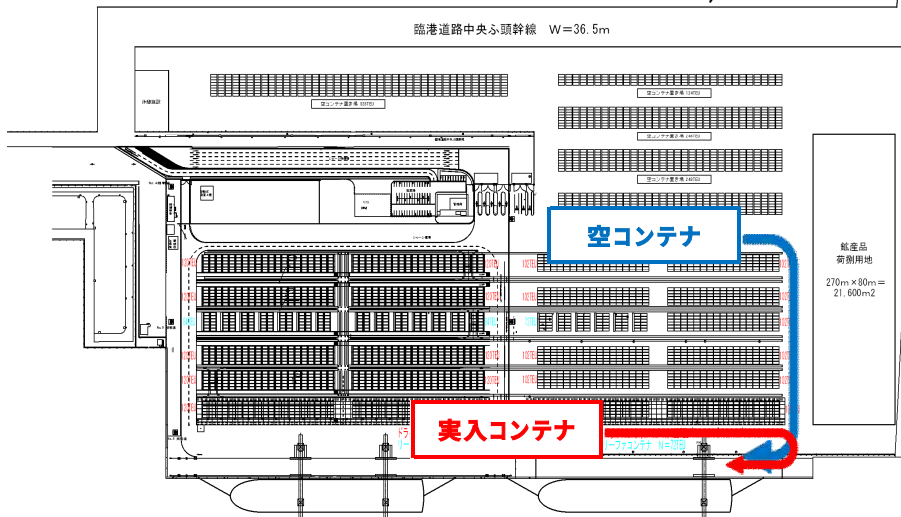
地区名	水深(m)	バース数	延長(m)	埠頭用地面積(ha)	埠頭用地面積の考え方
東港区 弁天地区	-14	1	330	43.6 (30.3)	今回計画では、外貿コンテナ及び内航フィーダーコンテナの蔵置日数を利用実績に合わせ、必要面積を確保する。
	-12	1	240		

※()内の数字は、既定計画の埠頭用地面積である。

また、水深 12m 岸壁端部の埠頭用地の必要性については図 3 に示す。

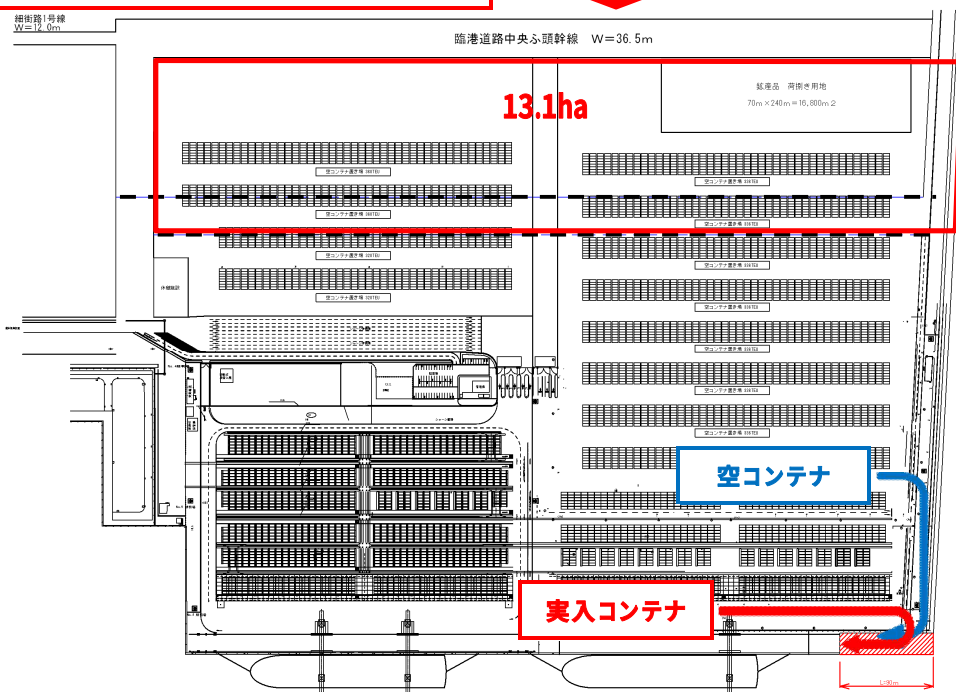
既定計画におけるコンテナ配置図

※ 目標年次における将来コンテナ取扱個数 300,500TEU



コンテナ蔵置日数			
外貿	(DRY)	9日	
	(REF)		
	(空)		
内貿	(DRY)		
	(REF)		
	(空)		

今回計画におけるコンテナ配置図



コンテナ蔵置日数			
外貿	(DRY)	7日	
	(REF)		
	(空)	21日	
内貿	(DRY)	11日	
	(REF)	3日	
	(空)	17日	

シャーシ動線詳細図

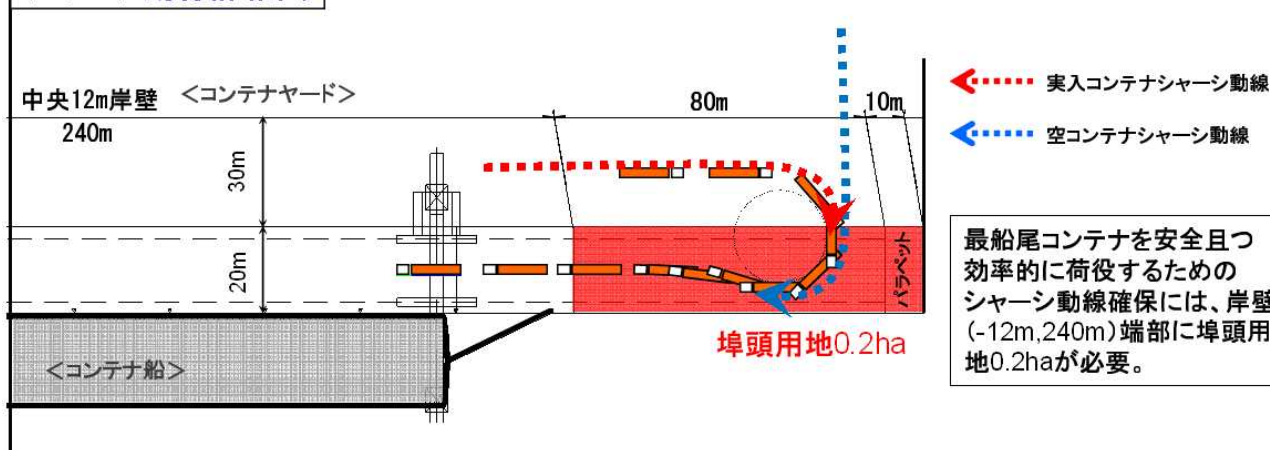


図 3 水深 12m岸壁端部の埠頭用地の必要性